

(学年) 第1学年、(教科・科目) 農業科・農業と情報

一斉・協働学習

(単元) プレゼンテーション

(本時のねらい)

本校では、学校設定科目や課題研究などの授業内で、自らの体験や研究内容についてプレゼンテーションソフトを利用して発表する機会が多く設けられている。そのため、プレゼンテーションソフトの特徴と機能を理解させ、基本操作を身に付けさせる。

(ICT 活用方法)

生徒一人ひとりの発表の相互評価の結果を発表後すぐに提示するために、評価をグループウェアのアンケート機能を用いて集計し、集計後すぐに自らの評価を示すことにより、授業内容の振り返りを円滑にし、深い学びにつなげる。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の学習を振り返る。 ・ 本時の学習内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回行ったグループ内での発表を振り返らせる。 	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作成資料を用いて仕事体験の活動内容を発表する。 (各グループ代表生徒) ・ 発表を聞いてコラボレーションプラットフォームのアンケートに回答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コラボレーションプラットフォームのアンケートを配信し、回答させる。 ・ アンケート結果を確認させ、自分の回答内容と比較させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コラボレーションプラットフォームを用いたアンケート ・ アンケートの集計・結果提示
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回資料の作成する際にどう改善するか、考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーション資料は作成者によって様々であり、工夫するポイントは多くある点を伝え、よりよい資料作成につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果を生徒が確認し振り返りを行う。

(授業の様子)



発表の様子



生徒が操作している様子



アンケート集計画面

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

プレゼンテーションソフトの基本操作やスライドでの文字の大きさやアニメーションの効果的な活用方法など、視覚に訴えるプレゼンテーション資料作成のポイントについて講義を行い、作成資料を用いた発表を相互評価した。また、振り返ることで資料作成、発表方法などプレゼンテーション能力の向上を図った。特に発表を行い、そのイメージが鮮明なうちに振り返ることで他人の発表と自分の発表を比べ、より多くの改善点を自ら発見することができていた。集計結果も円グラフやテキストマイニングなど視覚的に見やすい資料の提示により、生徒も一目で理解できた。

これまで生徒にコラボレーションプラットフォームを操作させる場面が少なく、はじめ操作に手間取る生徒もいたが、アンケート機能やチャット機能に興味を持つ生徒もいた。中には、科目「課題研究」などの発表にあたってアンケート機能を活かしたいという生徒もあり、教科担任の予想以上の反応があった。